

事業所名: 分倍保育園

---

令和4年度  
福祉サービス第三者評価  
評価結果報告書

評価機関(機構07-172)  
合同会社 福祉経営情報サービス

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

2023年 4月 5日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 104-0061

所在地 東京都中央区銀座6-6-1銀座風月堂ビル5F

評価機関名 合同会社 福祉経営情報サービス

認証評価機関番号

機構 07 - 172

電話番号 03-5537-7750

代表者氏名 渡邊廣貴



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①		福祉	H2101009
	②		経営	H2101095
	③		経営	H0403033
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	分倍保育園			
事業所連絡先	〒	183-0045		
	所在地	東京都府中市美好町2-32-7		
	TEL	042-306-6996		
事業所代表者氏名	木下義明			
契約日	2022年 12月 1日			
利用者調査票配付日(実施日)	2022年 12月 15日			
利用者調査結果報告日	2023年 1月 10日			
自己評価の調査票配付日	2022年 12月 15日			
自己評価結果報告日	2023年 1月 10日			
訪問調査日	2023年 1月 16日			
評価合議日	2023年 2月 17日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事業評価： ・経営層記入事項について、課題として認識している項目については、その課題に対する対応状況等を聞き取り、現状の把握に努めた。 ・訪問調査ではサービス担当者による現場視察を午前・午後の時間に行い、サービス提供場面を極力把握する事に努めた。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

令和5年 3月 28日

事業者代表者氏名

分倍保育園  
園長 木下義明



1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 保育を必要とするすべての子どもにとって、最もふさわしい生活の場として、最善の利益を守る。</li><li>2) 子どもの環境を整え、その心を受容する。</li><li>3) 豊かな感受性を得られる環境を整え、子ども一人ひとりがのびやかに過ごす。</li><li>4) 生きる力を育み、自ら行動する喜びを育てる。</li><li>5) 様々な感受性を受容して、表現する力を育てる。</li></ol>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1) 職員に求めている人材像や役割</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 健康で前向きな態度で仕事に取り組む人材。</li><li>2) 積極的にキャリアアップ研修の参加、その他の研修等で自身を磨き、保育者としての質の向上と後輩指導に当たれる人材。</li></ol> <p>(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>保育園の職員としての心得を守り、園の理念方針、目標を理解し業務にあたること。</p>

調査対象	保育園を利用している全世帯の保護者を対象に調査を行った。 1世帯で複数名の子どもが通園している場合は1回答とした。 子供総数:128 世帯数:108	
調査方法	・調査項目:東京都福祉サービス第三者評価の標準様式に準拠。 ・事業所への報告:自由回答については匿名性への配慮を行った上で事業所に報告した。	
利用者総数	128	
利用者家族総数(世帯)	108	
共通評価項目による調査対象者数	108	
共通評価項目による調査の有効回答者数	64	
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	59.3	

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想では「大変満足」が回答の43%、「満足」が51%、「どちらともいえない」が3%、「不満」が5%であり、回答者の92%「大変満足」「満足」のいずれかを選択している。

総合感想の自由記述では、「子どもが楽しそうに通っていることが何よりです。園の先生方を信頼して預けられています。」「散歩や制作、運動遊びなど毎日いろんなことを取り組んでいただき子どもにとってもよい刺激になっています。」「子どもが先生の名前をよく言っていたり、保育園行くんだ、など話すので保育園生活が楽しいのだと思います。」などの回答があった。そのほか、職員の対応やプライバシーに関する内容、情報提供、報告・連絡等に関するさまざまなコメントなどが得られている。

個別の設問では各設問で自由意見が得られており、特に設問3(食事・おやつ提供)、設問8(職員との相談機会)等で自由意見が比較的多く得られている。

なお、以下の利用者調査結果のコメントにある選択肢の回答率については「無回答・非該当」を除いた数値を参照して記載している。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	64	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由記述では「保育園に通い始めて、出来ることがたくさん増えました。」「沢山の友達と関わることによっていい影響を沢山貰っていると思います。」「季節を感じる製作をしてくれたり、散歩や戸外活動などの楽しみがあったり、また友達とのやりとりなども自然に学べるいい場だと思います。」などの回答があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	60	3	0	1
「無回答・非該当」を除く回答者の95%が「はい」を選択している。設問の自由記述では「歌や遊び絵本、工作など楽しめるように工夫してくれている」「いつも保育園で覚えた歌を楽しそうに歌っています。」「季節や行事にちなんだ作品が展示されていていつも楽しみにしています。」などの回答があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	51	7	2	4
「無回答・非該当」を除く回答者の85%が「はい」を選択している。設問の自由記述ではお子さんが「おいしい」と言っている旨の回答が比較的多く見られた。そのほか「手作りにこだわった素晴らしいご飯をいつもいただき、本当にありがとうございます。」「季節のものやクイズ、可愛いデコレーションされたものなど食育を行ってくれている。」「日本の文化も教えてください有難いです。」などの回答があった。また、離乳食に配慮がされている旨の回答や、献立のレポートリー(魚が少ない)、体調への配慮等に関する意見が見られた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	60	4	0	0
回答者の94%が「はい」を選択している。自由意見では公園に行く機会に関する要望や、「戸外遊びや散歩の中で自然に触れる機会は確保されていると感じます。ですが今はコロナ禍のためなかなか身近な社会と関わるという点は難しいのかなと感じます。」という回答などがあつた。そのほか、お子さんが遠足や芋ほりを楽しんだ旨の回答などがあつた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	41	3	4	16
「無回答・非該当」を除く回答者の85%が「はい」を選択している。設問の自由記述では「遅くまで預かって下さって助かります。」「臨機応変に対応して下さい、とても助かっています。」など、対応されていることを伝える回答が多かつた。そのほか、対応に対して満足されていない旨の回答も見られた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	51	8	0	5
「無回答・非該当」を除く回答者の86%が「はい」を選択している。設問の自由記述では防犯対策がしっかりしているという回答や、怪我をした際は小さなことでも細かく報告してくれ安心できる旨の回答等のほか、「事故があつたニュースがあると、すぐに対策されています。」という回答などがあつた。そのほか、「先生を増やして欲しい。」という回答などがあつた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	53	9	1	1
「無回答・非該当」を除く回答者の84%が「はい」を選択している。設問の自由記述では、日程の周知に関しては「年間行事はあらかじめ年度始めにわかるので助かります。個人面談については日程をもう少し早めに調整結果を頂きたいです。」という回答のほか、詳細を早めに知らせてほしいという回答や、コロナ禍における行事実施に関する回答などが見られた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	46	12	5	1
「無回答・非該当」を除く回答者の73%が「はい」を選択している。設問の自由記述では電話やノートでお子さんの様子がこまめに報告され助かっているという旨の回答や、「日々の送り迎えの時や、連絡帳でも先生方とお話ややり取りが出来るので相談などもしやすい。」旨の回答のほか、「職員が忙しそう」「職員による」という主旨の回答、「子供の様子について共有機会が少ない」「前期、後期どちらも面談を開催してもらいたい」などの回答が見られた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	59	4	0	1
「無回答・非該当」を除く回答者の94%が「はい」を選択している。設問の自由記述では「いつもとてもキレイな状態です。」など、綺麗にされている旨の回答が比較的多かつたが、床の汚れに関する意見がいくつか見られた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	54	9	1	0
回答者の84%が「はい」を選択している。設問の自由記述では「いつも笑顔で対応していただいています。」という回答のほかは、職員の挨拶や言葉遣い(口調、説教、大声での叱責)に関する意見が見られた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	51	8	2	3
「無回答・非該当」を除く回答者の84%が「はい」を選択している。設問の自由記述では、体調の確認に関して「体調を気にかけてくれるのがとても暖かく、よく見てくれ本当にありがたい」「風邪っぽいときや、体調が回復して登園したときなど、注意深く見られている」という旨の回答等があった。怪我については「職員が把握していない怪我が多い。」等の回答や対応に関する回答があった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	31	6	2	25
「無回答・非該当」を除く回答者の79%が「はい」を選択している。設問の自由記述では「トラブルがあった時は双方の親に報告してほしい。」等の回答があった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	51	9	1	3
「無回答・非該当」を除く回答者の84%が「はい」を選択している。設問の自由記述では「子どものことをよく見てくれていると思います。」「子どものやりたいという気持ちを大切にしてくれます。」という回答のほか、「個を尊重してもらっていると感じない。」という回答などがあった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	42	2	0	20
「無回答・非該当」を除く回答者の95%が「はい」を選択している。設問の自由意見欄に回答はなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	52	10	0	2
「無回答・非該当」を除く回答者の84%が「はい」を選択している。設問の自由記述では「連絡帳に書いてあること以外もお迎え時に教えてくれる」「プリントではいただいているが、コロナ禍なのか、直接機会は少ない。」等の回答があった。また、掲示については「忙しい中、毎日の保育の様子を写真に撮って掲示してくれてとてもありがたい。」という回答のほか、掲示される写真の大きさや枚数に関する要望などが見られた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	42	9	3	10
「無回答・非該当」を除く回答者の78%が「はい」を選択している。設問の自由記述では「職員による」という回答のほか、柔軟な対応や保護者に寄り添うことを要望する回答などがあった。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	22	7	14	21
「無回答・非該当」を除く回答者の51%が「はい」を選択している。設問の自由記述では「役所に連絡しても対応できないといわれる。」というか意図があった。				

## I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリ1	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
	7/7	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	○非該当	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	
○非該当		
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	
○非該当		
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	
○非該当		
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
○非該当		
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
○非該当		
カテゴリ1の講評		
<p>園の理念や方針をしおりや掲示で周知し、保護者説明会や職員会議で理解を促進している</p> <p>「園のしおり」に保育理念・方針・目標が記載され、「豊かな感受性を得られる環境を整え、子ども一人一人がのびやかに過ごす」などの保育方針が掲げられている。保育理念や方針は園の入り口や目立つ場所に掲示され、保護者や保育者がいつでも確認出来る。保護者には入園前の事業説明会での説明、入園後のしおりを使っての説明など、園の方針が丁寧に周知されている。職員には年度初めに全員が出席する職員会議にて理念や方針が周知されている。新入職の職員には「服務心得」を活用して、園の方針や決まり事などを周知し、理解を求めている。</p> <p>園長は大枠の方針を示し、現場の意見を尊重して運営を行なっている</p> <p>年度初めの職員会議にて園長より職務分担が示され、各自の役割の確認をしている。人員の異動に伴うチーム編成の変更は園長が判断している。地域や行政との連携などを園長が主となって行ない、保育に関してはチーフやサブチーフを中心とした職員へ権限が付与され、責任を持って実施されている。毎月の職員会議やカリキュラム会議では全体チーフ・乳児と幼児クラスの各サブチーフのリーダーシップのもと、季節の行事や翌月の保育内容が話し合われて決定される。園長はこれら現場の意見を尊重し、予算を勘案しながら環境の整備や行事開催を支援している。</p> <p>チーフを中心に職員が参画して園の活動を決定し、行事のねらいを共有して実行している</p> <p>園の運営に関する事項は職員会議にて検討され、保育の内容に関する件はカリキュラム会議で検討される。これらの会議では3名のチーフ職員に加え各職員が自由に意見を出し合い、保育や行事の実行案が決定される。特に今年度からは各行事の狙いは何かを職員間で討議して共有する事とした。行事毎に狙いを定める事で、職員間の意識を共通化し、決定事項への理解や責任感をより深める工夫がされている。決定事項を記載した職員会議録は紙ベースで回覧されているが、時間を要する場合もあり、IT化などを活用したスピードアップを期待したい。</p>		



カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>保護者と職員の意向をアンケート等で把握し、保育の環境変化の情報収集にも努めている</p> <p>保護者の意向確認のため、運動会や発表会、季節の行事などの度に行う保護者アンケートや、保育参観後の懇親会や個人面談などで保護者の意見を聴いている。職員の希望や目標は、年度末に「調査書」を園長に提出し把握される他、各種会議等で職員は活発に意見を表明する機会がある。園長は地域の保育園園長会に出席したり、行政との情報交換を行ったりする事で、最新の虐待対応事例の収集や地域貢献への事例を当園に持ち帰り検討している。利用者・職員・地域・行政から、幅広く意向の確認と情報収集が行われている。</p> <p>前年度の振り返りを実施して単年度計画を策定しており、中期計画の策定も期待したい</p> <p>法人によって当園を含む2つの保育園の前年度の事業報告書が策定され、それを踏まえた当年度の事業計画書がある。事業を取巻く概況の他、会議や研修、職員状況、設備改善、給食や健康管理、災害対策までが網羅された報告書と計画書になっており、保育園の概要が分かりやすく纏められている。概況の欄には中期的な課題についても書かれているが、中期計画は作成されていない。地域の児童数の変化や職員の採用と育成、設備改善など複数年に亘る課題を認識している事でもあり、課題を確実にクリアしていく為にも中期計画の策定を望みたい。</p> <p>各種会議で保育活動の企画をして、振り返りと職員間の学び合いで改善が図られている</p> <p>事業計画を実行する仕組みとして、毎月の職員会議・カリキュラム会議があり、職員同士の討議により月間の保育や行事が決定され実行されている。より具体的な内容についてはブロック会議や給食会議で討議し、子ども達の実情に合わせた活動が行われている。行事の振り返りには保護者アンケートを集計分析する事で、次回の企画に活用している。アンケート結果は園だよりで保護者にフィードバックされている。日々の保育に必要な事項は園内研修で職員が皆で学び合う仕組みがある。目指すべき姿の実現へ実践的に取り組み、改善を図っている。</p>		



3 経営における社会的責任			2/2
サブカテゴリー1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリー2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリー3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一人としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当

カテゴリ3の講評

**職員に服務心得を周知すると共に、利用者の意見や要望を聞く仕組みを複数備えている**

社会人としての基本的なマナーや保育者として子どもに対する接し方の基本が記載された「服務心得」がある。この服務心得は新入職時に渡され説明がされると共に、年度初めに全員で確認がされている。利用者の意見と要望の受付窓口が「園のしおり」にあり、チーフや園長と第三者委員の連絡先も記載されている。行事毎のアンケートや日々の連絡ノート、無記名式の意見箱「うさぎポスト」など、利用者からの声を幅広く聞く仕組みがある。3年に1度、第三者評価を受審しており、利用者職員からの意見や要望を組織の改善に活用している。

**虐待に対するマニュアルが整備され、弁護士を交えた研修会も実施されている**

虐待防止マニュアルがあり、全員が年1回の研修が受講できるように複数回に分けた研修会を行なっている。今年度、研修会には弁護士を呼び、家庭内での虐待が疑われる時に保育園として対応すべき点を学んだ。虐待が疑われる事例があれば、ケース会議を開催し、児童相談所への連絡や保護者への確認などがマニュアルに規定されている。また、園内でのかかわり方についてもブロック会議で話し合いをして、職員の気になる言動がある場合には都度お互いが注意し合うようにしている。

**地域のニーズに応じて「子育て広場」等を実施している。地域からの協力も得ている**

地域の福祉ニーズに応える活動として、今年度から子育て広場を開催している。子育て広場は基本的に毎月開催し、毎回5～6名の参加がある。通常の利用者以外に保育園を利用してもらう「一時保育事業」も実施している。ボランティアは今年度高校生2名を受け入れ、実習生は1名を受け入れた。受け入れマニュアルを整備しており、修了後にはレポートを作成させている。地元自治会との繋がりが深く、毎日園周辺の朝の見守りが行なわれている。自治会からは行事の手伝いやサンタクロース役などで協力も得ている。

カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>危機対応のマニュアルが整備され、日常のリスクも収集し検討する仕組みがある</p> <p>危機管理マニュアルとして、火災・地震・不審者・風水害・感染症・食物アレルギーなどに対応した項目が整備されている。今期は感染症や食物アレルギーなどについて、事例に即して職員会議で検討をした。不審者への対応を警察から学ぶなどの実践的対策が取られている。事故防止委員会にて日常のヒヤリハットを収集分析している。この委員会は、チーフ・看護師・職員2名からなり、収集したヒヤリハットを分析して、ピックアップした事例を職員会議で周知し、対応策を検討して再発防止に努めている。</p> <p>抜き打ちで避難訓練をしたり、日常の改善を積み重ねてリスク低減を図っている</p> <p>避難訓練の年度計画が作成され、毎月実施されている。訓練の実施日時を不定期にするなど、現場の対応力を高める工夫がされている。コロナ感染対策として、感染状況に応じた最新の対応策を看護師が示し、職員全員で実施にあっている。日常的なヒヤリハット事例から、床材をクッション性の高いものに張り替えて転倒時のケガを少なくする対策を行ったり、ドアの開閉時のゆび詰め事故を無くするためのチェック事項を見直したりと、現場からの意見を基に、日常の改善を積み重ね、リスク低減策を実行している。</p> <p>情報管理の規程類が整備され、パスワード管理や接続制限などの対策が取られている</p> <p>業務基本ガイダンスにて個人情報の取り扱いを規定している。利用者から個人情報の使用についての同意書を入園時に取得し、必要な時には都度確認が行われている。園のしおりに個人情報についての項目があり、情報の取り扱いや管理、意見の受付などについて記載されている。職員が使用するパソコンにはパスワードが設定され、必要な人以外の使用が制限されている。また、重要なデータを接続する機器を制限し、情報管理に努めている。職員からは入職時に守秘義務誓約書を取得し、意識付けを行なっている。</p>		

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(●●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇●●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
----------------	------------------	-----

評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	評点(〇〇〇)
-----------------------------------------------	---------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-5の講評

**様々な外部研修への参加や、園内での研修が行われ、学び合いの風土がある**  
 研修体系の一覧表に基づき、積極的に研修への参加を奨励している。市内の私立保育園研修会への参加や都のキャリアアップ研修に継続して参加している。研修への参加は職員の希望に応じた自由参加であるが、必要なものには指名して参加を促している。研修参加後は報告書を作成し、職員会議で共有される。園内においても外部講師を活用した体操教室やプライベートゾーン研修などを実施し、子どもの成長に合わせた関わり方を学んでいる。複数の職員がチームとなり持ち回りで行なう園内研修も実施されており、子どもへの関わり方等を学び合っている。

**職員の提案が採用されやすく、コミュニケーションも良く、働きやすい環境となっている**  
 職員からの提案を受け入れる事が多くみられ、今期は園庭へ新しい遊具が設置され、配慮を要する子どもへの保育に必要な備品(おんぶ紐)が揃えられた。職員の保育の質向上への意欲を大切にし、チーフ等の職員へ権限の委譲がされている。職員間も各会議での発言や意見交換が活発であり、コミュニケーションが良い。保育室も各クラス間に壁が無くオープンである事から、各職員の行動が見えやすく、保育中に職員同士での声掛けや行動でのサポートが行われている。有給休暇も20日程度が消化され、働きやすい環境となっている。

**個人別目標や行事の狙いを共有した取り組みがあるが、今後は育成制度の確立を期待する**  
 今期からチーフの発案により、個人別の目標を設定し、チーフとの面談を実施している。目標の達成状況を共有しながら各自の研修への参加や日々の保育の改善に取り組んでいる。行事毎の「狙い」を明確化した事で、職員間の意識が揃い、振り返りにおいても「狙い」に沿った反省がされており、企画・実行・反省・改善のサイクルが回っている。一方で、園が開設されて9年目であり、キャリアパスや人事評価制度は整備されていない。職員アンケートにも人材育成や評価に関する要望が上がっており、人材育成制度の整備を期待したい。

7 カテゴリー7	
事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p> <p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>「子どもにとって、最もふさわしい生活の場として、最善の利益を守り、保護者と手を取り合い福祉を増進します。」との園の保育理念に則り、ふさわしい生活の場を作り上げるのに必要な事は何かと、職員を交えて話し合い、以下の設備の改善を行なう計画を立てた。  1) 屋上を遊び場として使えるようにする。  2) 園庭の遊具を変更する。  3) 園内で補修の必要な箇所の床材を変更する。  実行するにあたって、業者の選定と見積もり取得を行ない、必要な予算を計上して、法人の承認を得た。  その結果、上記すべての改装と補修を完了する事が出来た。  次年度に向けて、必要な改善事項のピックアップがされている。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>コロナ禍で子どもの活動が制限されている中で、園の理念に照らして「最もふさわしい生活の場」とは何かを職員が考え、上記の改装を立案している。1) 屋上は芝生と草で使いづらい状態であったが、やわらかい床材に改装する事で乳児クラスの運動会をコロナ禍ではあるが実施出来ている。2) 園庭の遊具も木製のものを4種類設置した事で、外部の公園に行きづらい時でも、楽しく豊かに遊ぶことが出来る様になった。3) トイレや水回りの床材を補修した事で、スムーズな移動や安全性が向上している。  実行にあたっては、職員自らが適切な遊具の選定に関わるなど、普段子どもを保育する視点を活かした改装がされた。単に設備を変える事を目的とはせず、その結果子どもたちにとって「ふさわしい生活の場」となっているかとの検証を行なっている。次年度も継続して生活環境の整備を実施していく予定であり、現時点では、「外階段への手すりの設置」が候補として挙がっている。ハード面の改修に合わせて、ソフト面での改善事項が無いのかも今後検討されることを期待したい。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

家庭環境や発達面などに特に配慮が必要な子どもが増えてきており、保護者との関係構築方法にも従来とは異なるスキルが必要と感じていた。そこで、養育や医療などの専門機関との連携を強化するとの目標を立てた。

具体的には、①子育て世代包括支援センター「みらい」②子ども家庭支援センター「たっち」③子ども発達支援センター「あゆの子」との連携を強める事とした。

それぞれの専門機関から対応の基礎知識を学ぶとともに、個別の気になる子どもに関する相談や情報交換を実施した。

その結果、

- 1) 保育上気になる子どもを「みらい」にてサポートを受ける事が出来た。
  - 2) 発達状況が気になっていた子どもの保護者と話し合い、「あゆの子」を保育園と並行利用する事に繋げた。
  - 3) 1歳6か月健診と3歳児健診に関して、園の利用者や利用予定者の必要な情報を共有し、より適切な保育に繋げた。
- などの成果が見られる。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

複雑化し多様化する子どもを取巻く状況を真摯に受け止め、自組織だけではなく多機関での対応を立案している。近隣の様々な機関に出向き、基礎的な知識の習得に留まることなく、具体的な事例での相談と解決を図る姿勢は、「様々な人や専門機関等と連携を図り、地域に開かれた保育を目指します。」とした園の理念にも合致したものである。当保育園が得意とする、集団での遊びと自立支援を大切にしながら、多機関との共同で子どもの育成を行う事を保護者に提案し、発達支援センターを並行利用する事に繋がった。近隣に開設される予定の児童発達支援センターや、コロナ禍で連携が中断している学童保育との連携も企画中であり、多機関連携を次年度以降もより強化していく計画を持っている。



II サービス提供のプロセス項目 (カテゴリー6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		○非該当
サブカテゴリー1の講評			
<p>法人のウェブページで園の全体の状況が紹介され、第三者評価結果も知る事が出来る                  情報提供としてウェブページがあり、法人経営の2園を紹介している。ウェブページでは園の方針を分かりやすい表現で記載しているほか、乳児と幼児に分けて一日の保育の流れが写真付きで紹介されている。年間の行事予定も月ごとに書かれており、ほぼ毎月何らかの行事が実施されている事が判る。また、このサイトでは2つの園の事業計画書・事業報告書・第三者評価結果報告書も掲載されており、地域との交流状況や避難訓練の実施状況なども確認が出来る。</p> <p>様々な利用者を考慮し、市や支援センターとも連携した情報提供を実施している                  園の活動を紹介したリーフレットを、写真を多く使い文字を少なくして、外国人の方を含めた様々な利用希望者にも判りやすいように改訂した。このリーフレットは園を訪れる利用希望者にも配布されるが、市役所の保育相談窓口にも利用希望者への情報提供の一助として活用してもらっている。また、子ども家庭支援センター「たち」にも当園のリーフレットが置かれており、市民への情報提供が多機関と連携して行なわれている。更に、子育て広場を開催して地域にも開かれた保育園として、情報の発信に努めている。</p> <p>見学時には園の実際の活動を見て、特徴を理解してもらう様に工夫している                  園の見学希望者には出来るだけ午前中に来てもらい、実際の保育の様子を見てもらうようにしている。玄関の周辺に職員の紹介が掲示されたり、前日の保育の様子が「今日の保育」として各クラス写真入りで掲示されていたりと、実際の保育の場面が分かりやすい工夫がされている。見学では園が力を入れている保育を理解してもらえるように、午前中の体操着での体づくり、体操教室の開催、散歩の充実による自然とのふれあいなどを見てもらっている。最近の利用希望者はまずはホームページをチェックされる方が多い為、更なるページの充実も検討中である。</p>			

		サブカテゴリ-2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>			
<b>評価</b>		<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>			
<b>評価</b>		<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリ-2の講評</b>			
<b>入園前の面談において準備事項等を丁寧に説明し、個別の状況も把握している</b> 入園が決まった児童に対して、個別面談の日程を調整して、チーフ他で面談を行なう。面談で使う「入園のしおり」は、園の保育方針・クラス毎の定員数と担任数が示され、1日の保育の流れ・服装や給食・年齢ごとに必要な持ち物などが写真付きで分かりやすく表示されている。標準的な利用だけでなく、延長保育や土曜保育、病気や怪我の時の対応などについても説明がされている。個別の面談時に各利用者の「入園前生活状況表」で発育状況や食物アレルギーの有無などを聴取している。これらの情報は利用者の意見や要望を含めて「児童票」として共有される。			
<b>入園後早く園に慣れるような配慮と、個別の状況に対応できるように工夫している</b> 入園直後の園児と保護者の不安を軽減する為に、初日に保護者向け事業説明会が行なわれる。その際に「新入園児保育日程表」として、標準1週間の慣らし保育の日程を説明しているが、個別の事情に合わせたフレキシブルな対応がされている。保育を開始するにあたって、各児童の状況は保健面と保育面を一度に確認出来る様式を利用し、関係する職員が共有している。保護者からの要望が最初に全て出されるわけではないので、日々の会話や連絡ノートを使って、各児童に関する情報のアップデートを行って対応をしている。			
<b>卒園後も同窓会や近況報告などで、繋がりが保たれている</b> 同じ年に卒園した児童と保護者を対象に、同窓会を実施している。5月から6月ごろに園を使って土曜日の午前に行う事が多い。4か所から5か所の小学校に進学している事もあり、数名の欠席はあるが、多くの児童・保護者が参加している。保護者同士の繋がりが大切にして、お互いの会話が弾みやすいように、出欠の連絡と合わせて近況報告を貰い、紹介する工夫をしている。コロナ禍で集まれなかった時は、この近況報告と職員の近況も交えたレポートを作成して配布した。卒園者が通う学童保育の展覧会に職員が顔を出して、継続的な繋がりを持っている。			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
3	個別状況の記録と計画策定		
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		<b>評点(〇〇〇)</b>	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
<b>評価項目2</b> 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		<b>評点(〇〇〇〇〇)</b>	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当	
<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		<b>評点(〇〇)</b>	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点(〇〇)</b>	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
<b>サブカテゴリ-3の講評</b>			
<b>個別面談と日々の保育の様子から子どもの状況を把握し、保育に活かしている</b> 子どもの発育状況や食物アレルギー、生活の状況は「入園前生活状況表」で基本事項が確認されているが、その後の保育でも子どもの変化を捉えた保育経過記録が取られ、児童票として纏められている。全児童を対象として5月～6月に個別面談が行われ、園での様子を伝えたり、家庭での生活状況を確認したりしながら、保護者の園への要望や子育ての不安や困りごとの相談にも応じている。これら様々な情報を基に日々の保育での様子を加味して、複数の職員で意見交換しながら、保育計画が作成されている。			
<b>保育計画は、ニーズ把握と作成の手順が整っており、園全体で作る仕組みがある</b> 全体的な計画をベースに学年毎の年間指導計画が作成される。毎月末にカリキュラム会議が行われ、当月の振り返りをして、次月の月間指導計画がクラス別に策定される。カリキュラム会議にはチーフ・サブチーフ・各リーダー(看護師や栄養士を含む)が参加し、様々な視点から意見交換がなされ、子どもそれぞれのニーズやクラスの課題が話し合われている。担任以外の職員も普段から子どもの状況を良く把握しており、カリキュラム会議で全員が意見を出し合っており、毎月の評価と反省を基に次月の計画に繋がるという仕組みが出来ている。			
<b>情報共有が日常的に行われ、保育の計画と記録に複数の職員が関わっている</b> 日常的に各クラスや学年で職員間で情報交換が行われているが、毎日朝と夕方に各学年の代表者を集めたミーティングを実施し、変化のあった情報や共有すべき事項を伝達し、園全体の情報を統一している。保育中の反省事項や特記すべき事項は、保育経過記録として残され、児童票に纏められる。この記録は半期ごとに園長とチーフを交えて確認され、保育の計画に反映される。乳児(0歳・1歳・2歳)に関してはそれぞれの発育状況に合わせた個別計画が作成され、保育士・看護師・栄養士などの意見がよりきめ細かく反映される仕組みとなっている。			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>子どものプライバシーを守る為のルールが整備され、研修会も実施されている</p> <p>個人情報に関する基本方針が入園時に配布される「園のしおり」に記載され、説明がされている。写真や名前を使用する可能性のある媒体(ウェブページやパンフレットなど)毎に区分された同意書を保護者から取得している。毎日玄関ロビーに掲示する「今日の保育」は子どもの写真を貼っているため、保護者には撮影禁止をお願いしている。幼児と職員向けにプライベートゾーンの研修会を看護師が中心となっ て行っており、自分と他人の意識が持てる様に分かりやすい指導がなされ、着替えの時やトイレの時の目隠しや職員の関わり方に活かされている。</p> <p>子どもの気持ちに寄り添った保育が、園全体のチームワークで行われている</p> <p>子どもへの基本的な関わり方は服務規程を使って職員教育がなされている。視察中にも大半の職員は子どもの気持ちに寄り添った声掛けがされており、少しキツイ言い方になった時には別の職員がフォローをするなど、チームで保育する事に心掛けている。個々の価値観や生活習慣は「入園前生活状況表」で確認されるが、それ以降も個別面談や連絡ノート・懇親会での要望確認を行い、午睡の時間など個別の状況に配慮した保育を実施している。</p> <p>虐待対応に関する勉強会を弁護士を交えて実施し、適切な対応に努めている</p> <p>虐待マニュアルを整備し、職員間で読み合わせを行うほか、今回は弁護士を招いて勉強会を実施した。虐待が疑われる場合には、ケース会議を実施して職員間で情報を共有して、児童相談所や家庭支援センターへ連絡相談をする事としている。これら関係機関とは普段から連絡を取り合い、必要な時に支援をスムーズに得られる様に人的関係作りをしている。虐待に限らず、配慮が必要な子どもへの関わり方についても、専門機関から学ぶなどの連携に努めている。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	3/5
6	事業所業務の標準化		
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		<b>評点(○○●)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当
○あり ●なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		<b>評点(○●)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
○あり ●なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		○非該当
<b>サブカテゴリ-6の講評</b>			
<b>基本的なマニュアルを整備し、業務の改善に向けて会議等で討議している</b> 災害対応の危機管理マニュアルや虐待防止マニュアルが整備されており、避難訓練や虐待の勉強会を通じて、周知徹底されると共に、内容の修正や更新が行われている。保育の基本業務については、業務基本ガイダンスがあり、入職時に渡され説明がされている。業務基本ガイダンスは基本事項が主となる為、定期的な改訂はされていない。保育業務のより適切なあり方などが、職員会議やカリキュラム会議で話し合われて、関係者に周知されている。各種行事を行う際にもその行事の「ねらい」を共有する事で、職員の意識統一と活動内容の標準化を図っている。			
<b>訓練や行事の実施と反省を繰り返して、業務の改善がされている</b> マニュアルは関連する法規が変更された時などに改訂されている。危機管理に関する事は、避難訓練などを実施した後の反省会で参加した職員の意見を聴き、園の理念や方針に照らしてより適切な方法がないか等の検討がされ、次回の訓練に活用がされているが、マニュアルを改訂する事がルール化されてはいない。文書化されたマニュアルにすべてを落とし込んで整備する事とはなっていないが、実質的に職員の行動と意識を標準化するために、話し合いや討議を活発に行なっている。			
<b>日常の保育における相互援助を大切にしながら、標準化のルール化を期待したい</b> 日常の保育の場面で分からない事や戸惑う事があれば、都度先輩職員やチーフにその場で聞くようにしており、マニュアルを参照する事は少ない。その場その時に適切な保育を提供しなければならない保育園であり、職員同士のコミュニケーションや相互援助を大切にしている。一方で、今後は新たな職員の採用や担当職務の変更も考えられるため、個人ごとの判断や個性を、園として適切に標準化しておく必要がある業務については、規程類の策定と見直しをルール化していく事を期待したい。			



Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもと保護者の状況を把握し共有化して、一人一人を大切にされた保育をしている</p> <p>子どもの状況はカリキュラム会議などで毎月確認し、共有されている。学年毎やクラス毎にも頻繁に状況の把握と職員間で共有がされて、変化のある事項などはチーフや園長を交えて対応される。保護者の意向は、連絡ノートや行事後のアンケート、年間2回の個別面談などを通じて把握されている。入園した時に、一人一人に絵本を1冊プレゼントしており、「自分だけの絵本」を持つ喜びを感じてもらうなどの工夫をしている。</p> <p>子どもの自主性を引き出す工夫があり、異年齢保育の環境も整備している</p> <p>保育室は年齢ごとに区分はされているが、オープンなスペースであり、子どもたちがクラスを超えて自由に遊べる環境である。乳児クラスには本物のスイッチやそろばんを使った手作りおもちゃがあり、小さな子どもが自ら動いて触れられる高さに置いてある。幼児クラスでは帰りの身支度の順番を絵で示し、子どもが自主的に準備できる工夫がされている。乳児クラスの1階には乳児用のテラスがあり、幼児クラスの2階には「夢工房」という異年齢と一緒に遊べる別室がある。延長保育や土曜保育は異年齢児を同じ部屋で行うなど、年齢を超えた交わりが出来る。</p> <p>個別の状況にある子どもへのサポートを行い、専門機関との連携もある</p> <p>外国籍の保護者と子どもも在園しており、言葉でのコミュニケーションは問題がないが、文字での連絡・共有が難しい場合があり、写真や平易な言葉を選んで対応している。必要な場合には外部の通訳サポートも活用している。発達が気になる子どもについては、「すこやか保育日誌」をつけて職員間で情報共有を行い、職員を一人フォロー役として配置し、その子どもも集団の中で楽しめる様にサポートしている。発達支援センター等の専門機関とも連携を図りながら保育が行われている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園と降園時には、子どもと保護者の状況確認をし、職員間で共有がなされる</p> <p>登園の時は担任や早番担当で受け入れを行い、出来るだけ保護者との会話に努めている。乳児クラスは毎日連絡ノートを保護者と交わしており、保護者からの連絡事項などを確認している。幼児クラスは、毎日ではないが都度連絡事項の交換がなされる。登園時の情報は各学年から職員が1名参加する朝のミーティングで全体共有され、記録される。降園の時には、「今日の保育」と題した各クラス1枚の写真とコメントが玄関ロビーに掲示され、保護者とのコミュニケーションを促進する工夫がなされている。夕方にも職員の共有ミーティングが実施されている。</p> <p>食事や発育の様子を家庭に伝える工夫がされ、午睡時間も個別に配慮されている</p> <p>本格的な給食室を備えて、和食を中心とした献立が提供されている。園で出している給食は写真を撮ってクラス毎に掲示され、食事の内容や量が保護者とも共有できるようにしている。家庭では少食な子どもも「保育園ではこんなにしっかり食べている」と驚く保護者もいるとの事である。発育の状況は「保健日より」「食育日より」を通じて保護者に情報発信している。お昼寝の時間は特に年長児においては柔軟に対応しているが、保育時間の長い子どものお昼寝を確保する事も重要であり、午睡時間帯は静かに過ごす様に気を配っている。</p> <p>子どもの体調が優れない時は医務室での預かりを行ない、早めのお迎えをお願いしている</p> <p>保育室がオープンなスペースでもあり、複数の職員が子どもの体調の変化に気を配った対応がされている。体調不良になった際には、他の子どもと距離を取る為に医務室で預かり、保護者に早めのお迎えをお願いしている。体調を頻繁に崩しがちな子どもについては、病児保育の利用などをアドバイスしている。看護師が常駐し、毎日朝と夕方に園内を巡回し、子どもの様子観察して必要な対応を取りながら、職員の相談にも応じている。</p>		



3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p><b>コロナ禍においても子どもが自由に遊べる環境の整備を実施した</b>  令和4年度に屋上を改装し、コロナ禍においても子供たちが太陽の下でのびのびと遊べる環境を整備した。この屋上では乳児クラスの運動会を開催するなど、感染対策を行いつつ、集団としての活動が実践できている。また、園庭に4種類の遊具を新設して、子ども達が創造的な遊びが出来る様にとの目的で、異年齢の子どもが関わって「ごっこ遊び」を行いやすい遊具などが選定されている。幼児クラスは午前中体操着で過ごし、集団で思い切り身体を動かして遊んでいる。</p> <p><b>子どもの発育に応じた保育の工夫がなされている</b>  乳児クラスでは、一人一人の発する言葉に耳を傾け、楽しんで遊べるように考えて保育を行おうと努めており、例えば、本物のスイッチやそろばんを使った手作りおもちゃなど手触りにも配慮が見られる。幼児クラスではリズム遊びで蛙飛びやアヒル歩き、うさぎびよんびよん飛びなどで体力作りと共に、バランス感覚の向上が図れるようにしている。季節の歌を歌ったり、ラジオ体操の時には、年齢の異なるグループとするなど、子供同士の関りを促進する取り組みがされている。</p> <p><b>季節を感じる散歩に力を入れ、決まりを守る大切さも教えている</b>  園の近隣に10か所以上の公園があり、季節感を味わえるように場所を選定して、散歩を盛んに行なっている。散歩に行く際には、信号を守る事や並んで歩く事など、ルールを教えており、安全に散歩が出来ている。その成果として、年長の子どもクラスでは、片道2キロの大型公園まで歩いて散歩できるようになっている。また、コロナ禍で中断しているが、以前は公共交通機関を使って高尾山まで行く事もあり、決まり事を守り、集団で行動する力を育てる保育が実施されている。</p>		

4 評価項目4		日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している			○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している			○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている			○非該当
評価項目4の講評				
<p>季節を感じる行事を多く開催し、地域との触れ合いにも配慮して実施している</p> <p>こどもの日・七夕・夏祭り・いも掘り・クリスマス・節分・ひな祭り、と季節を感じる行事が多く開催されている。各行事では子どもたちと職員による手作りの飾りつけや小道具が準備されるなど、行事への関心を高める工夫がされている。春と秋には遠足が予定され、皆が協力して完歩出来るように普段の散歩で、歩く力を付けたり、ルールを守る事などを学んでいる。園で行う行事にも地域の自治会を招待したり、サンタクロース役で協力を得たりと、様々な大人との関りを持たせて、子どもの成長をサポートしている。</p> <p>子ども同士が協力する行事が複数あり、楽しんで取り組める工夫がある</p> <p>運動会はコロナの影響で、全学年を一堂に会して実施する事が出来なかったが、乳児・幼児に分かれてクラスの垣根なく実施する事が出来た。幼児(3歳～5歳)クラスでは「お店屋さんごっこ」を行っており、各学年がお菓子の店を出店して、それぞれがお店屋さんとお客さんになり、年齢の異なる子ども同士で楽しんでいる。1月末に行われる「生活発表会」はクラスで協力して、劇や歌・踊りが発表されるが、その小道具なども子ども同士で力を合わせて作っており、積み重ねて練習し準備してきた事を保護者の前で発表する喜びを感じられる取り組みがある。</p> <p>行事のねらいを明確にして実施し、保護者の意見も取り入れる工夫をしている</p> <p>行事を行う際には複数の職員が担当となって企画し、職員会議で検討されてから実行される。行事毎に「ねらい」を明確に取り組むようにする事で職員間の意識が統一され、前向きな意見が多く出されて行事が行われている。実施後には保護者にアンケートを取って、ねらいに適した内容であったかについての意見を聴き、次回以降に活かす仕組みとなっている。行事の様子やアンケート結果は園だよりなどでフィードバックされており、保護者の理解と協力が得られやすい工夫がされている。</p>				
5 評価項目5		保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている			○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている			○非該当
評価項目5の講評				
<p>延長保育では保育室を変えて、子どもが興味を持ちながら安らげるように工夫している</p> <p>延長保育や土曜保育は、普段の保育室とは別の部屋で異年齢の子ども達と過ごす事で、子どもたちにとって通常時間帯とは違う楽しみをもてるようにしている。延長保育や土曜保育に使用する部屋は床暖房が設置され、座ったり寝転んだりして過ごす事が出来る。また、この部屋にしか置いていないおもちゃもあり、子どもが興味を持てるように工夫をしている。</p> <p>延長保育の時は補食を準備し、家庭的な雰囲気提供している</p> <p>延長保育が19時までの場合はパンやおにぎりなどの軽食が準備されて、20時までの場合には園で調理した夕食が提供されている。軽食や夕食の時は、子どもと職員と一緒に食べるようにして、出来るだけ家庭的な雰囲気作りを心掛けている。延長保育は事前申請となっているが、急な要望にも応える様にしており、その際の補食は乾きものなどでの対応となる場合もあるが、全ての子どもが延長保育を楽しく過ごせるように配慮されている。</p>				

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
評価項目6の講評			
<p><b>必要な栄養量が計算された楽しい給食が提供されている</b></p> <p>常勤の栄養士が2名おり、給食時には子どもと一緒に食事をし、子どもの食べる様子を観察して調理を工夫したり、食育活動に活かしている。1日に必要な栄養量の45%を園で提供出来る様に献立が工夫されており、一度に食べる量が少ない乳児クラスには9時と15時におやつがあり、幼児クラスには15時におやつを提供している。ご飯に海苔で顔を書いたり、ハンバーグと野菜で動物の顔を作ったりと、子どもたちが楽しんで食べられるような工夫がされている。「食育だより」が毎月出され、献立表や子どもたち向けの食事マナー等の食育活動が紹介される。</p> <p><b>食材や調理法にもこだわり、食事に子どもの興味が沸く取り組みがなされている</b></p> <p>旬の食材を出るだけ使い、出汁もしっかりと取って食事が提供されている。噛む力を付けられる様に食材や調理法にも工夫を凝らした子供の成長を考えた献立となっている。給食会議で栄養士とチーフ・学年リーダー・行事担当が話し合っってメニューを決めている。食べる前には当番の子どもが今日のメニューを発表をする事で、子どもの意識が給食に向くような工夫がされている。子どもが食べ物に興味や関心を持つように、野菜の皮むきや出汁とり、ふりかけ作りや夏野菜の栽培などに取り組んでいる。</p> <p><b>食物アレルギーや宗教上の制限に対応したメニューが提供されている</b></p> <p>食物アレルギーがある場合は医療機関の受診をお願いし、正しい情報を共有して、対象の食材を提供しない「完全除去食」で対応している。アレルギー対応食を提供するときは給食室からの移動時と配膳時に2度、複数職員によるダブルチェックが行われている。宗教上の理由で、月に1回食事に制限を必要とする子どもに対しても、献立の工夫をして要望に応えられるようなきめ細かな対応が図られている。毎日の給食内容は写真で園内に掲示しており、献立表だけでは分かりづらい、食べている量や盛り付け方などを保護者に伝えている。</p>			
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当	
評価項目7の講評			
<p><b>子どもの健康や安全を守る活動が積極的に実施している</b></p> <p>0歳児の健康診断は毎月行ない、それ以外の年齢児は年2回の健康診断を実施している。看護師が朝と夕方の2回、毎日園内を巡回して子どもの様子を確認している。看護師は子どもたちに手洗いや感染症予防、プライベートゾーンの話などを分かりやすく伝えており、手洗いは習慣化し、着替えもスムーズにできる様になった。ヒヤリハット事例を収集しており、それぞれの事例に対して、対応策と再発防止策が職員間で話し合われ、共有されている。ヒヤリハット事例をより積極的に出していけるように、その目的と意義を再確認する勉強会も開催されている。</p> <p><b>園と家庭が連携して子どもの健康管理を行う工夫をしている</b></p> <p>SIDS(乳幼児突然死症候群)対応として、午睡時のチェックが年齢に応じて5分毎から30分毎まできめ細かく行なわれている。また、顔の向きの変化も向きが変わる都度チェックと記録が取られている。市が実施する3か月・6か月・9か月・1歳6か月・3歳健診の結果の共有を保護者をお願いし、園と家庭で子どもの健康管理についての連携を図っている。また、保護者向けに毎月「保健だより」を発行して、季節ごとの留意点などを掲載して、子どもの健康維持をサポートしている。</p> <p><b>子どもの体調不良に対しては保護者や医療機関等と連携して対応している</b></p> <p>保育中に子どもに体調変化があった際には、医務室を利用して体を休める様になっている。現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておらず、園での薬の預かりや服薬もしていないが、看護師が常駐しており、必要な時には医療機関と連携をしている。コロナの罹患状況は玄関内の分かりやすい場所に人数が張り出されており、保護者がコロナの状況を理解する事が出来る。園内での体調不良やケガの場合は保護者への引き渡しを行うが、園の提携医や近隣の医者を受診するなど子どもの安全を優先した対応をしている。</p>			

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当	
評価項目8の講評			
<p><b>延長保育や土曜保育を行い、保護者の要望を聞いて就労等を支援している</b>          保護者の就労の状況や家庭環境に合わせて、延長保育と土曜保育を実施している。延長保育は月極利用とスポットでの一日利用が可能となっており、保護者の個々の事情に対応がされている。日々の送迎時の会話や連絡ノートなどで、子育てや就労環境などに関する情報の共有がされるが、年に2回の個別面談でゆっくりと話し合う機会も設けられている。保護者の要望を聞き取る仕組みは、行事毎のアンケートや懇親会、3年に一度の第三者評価の利用者アンケートなどがある。</p> <p><b>参観日等を活用して保護者懇親会を実施し、保護者同士の交流の場を設けている</b>          保育参観や事業説明会が終わったあとに懇親会が行なわれている。5月の参観日はクラス別の懇親会が、2月の説明会は学年別の懇親会が実施され、保護者同士で子育ての事や子どもの遊び方の話などを交わして、子育ての悩みや不安を共有する機会となっている。保育参観では、当日以外の状況も判るように、映像を使って子どもたちの様子を伝える工夫をしている。懇親会の場で、看護師から子どもたちに話したプライベートゾーンの話や、子どもが家庭と保育園で同じ様に過ごせるように、保護者と園が共通の認識を持つ配慮をしている。</p> <p><b>掲示板や連絡帳、園だよりなどで保育の様子を保護者に知ってもらおう工夫をしている</b>          毎日の保育の状況が「今日の保育」として写真入りで掲示されている。夕方から翌朝まで張り出されており、送迎にきた保護者が見て、園の様子を知る事や、保育士との会話の助けになっている。乳児クラスは毎日連絡ノートでのやり取りがあり、幼児クラスも都度連絡を取り合うノートがある。乳児クラスは廊下まで、幼児クラスは保育室まで、保護者が入る事が可能であり、子ども同士や保育士とのやり取りを知る事も出来る。毎月発行の園だよりはA3両面に保育の様子や保育者や保護者の声や載せられており、保護者からも充実しているとの声がある。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当	
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当	
評価項目9の講評			
<p><b>多くの地域交流がコロナ禍で中断されたが、地元自治会による見守りが継続されている</b>          コロナ禍以前は他の保育園との交流や消防署見学、図書館の利用など、頻りに地域との交流が行われていたが、コロナの影響が残っている今回の調査時点では中断している。園の開設以来、朝の見守りを地元自治会がしており、コロナ禍においても継続している。勤労感謝の日には子どもたちが感謝のカードを作って自治会の方々にプレゼントをしたり、クリスマス会にはサンタクロース役として自治会の人協力をしてきているなど、地域との交流を大切に続けている。</p> <p><b>近隣の公園を散歩したり、外部講師による体操教室等で生活の幅を広げている</b>          園の近隣にある10か所以上の公園を活用して、散歩をしている。乳児クラスも散歩カーを利用して、積極的に外に出かけている。季節を感じる事や自然と触れ合う事、友達と手をつないで歩く事で子どもが成長し、世界が広がっていく事を目指している。外部の機関に依頼して体操教室を毎週1回実施して、筋力やバランス感覚・リズム感覚などを養うとともに、保育園の先生ではない大人と触れ合う機会となっている。コロナ禍が落ち着く時期を見て、学童や高齢者施設との交流も実施したいとの計画があり、期待したい。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	食事や散歩、体操を通じた身体作りを大切にしたい取り組みを実施している	
内容①	子どもの健康な身体作りを力を入れており、基本となる食事は、出汁を初めから取り、旬の素材にこだわったものを提供するなどの配慮をしている。必要な栄養量の45%を園での食事とする事を目標にして、献立が考えられている。また、体力を作る為に散歩や体操に力を入れている。乳児クラスから積極的に散歩に出掛け、5歳児の時には片道2kmの大型公園まで歩いて行けるまでになっている。毎朝のラジオ体操や外部講師による体操教室が年間を通じて実施され、バランス感覚やリズム感を養うなどの身体づくりを考えた保育を行なっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル②	避難訓練やリスク対策が具体的で、子どもを守る意識が高い	
内容②	避難訓練を毎月実施しているが、実施する日時を不定期にして、現場の対応力を高める工夫をしている。訓練実施後に反省や改善が見い出す話し合いを行って次回の訓練に活かしている。避難用のヘルメットが目につきやすい所に必要な数を分散して置いたり、エントランスに散歩車を畳まずに置いたり、緊急時に避難が直ぐに出来る様な準備をしている。不審者対策にあたっては、警察からアドバイスを受けて、実践的な方法を学んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	職員が企画実行する園内研修を実施するなど、学び合って相互研鑽をしている	
内容③	外部の研修には希望者が参加が可能であり、都のキャリアアップ研修にも毎年参加している。外部の研修参加に加えて、園内での研修を毎月行っており、各月の研修の担当学年の職員が研修のテーマを例えば「遊びの最中に転びやすい子どもへの対応方法」や「行事の時の保護者対応で気付いた事」などと決めて、園内での実例を基に話し合いをしている。この園内研修を実施する事で、職員の目線が合う事や、違う考えを理解出来る事などの効果を実感しており、職員同士で相互研鑽が出来ている。	



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの成長に合わせた身体作りに力を入れて取り組んでいる
	内容	毎日子どもたちはラジオ体操をしており、遊びにも「リズム遊び」を取り入れて、カエルやアヒル、ウサギの動きを真似て歩いたり飛び跳ねたりして、バランス感覚やリズム感を養いながら、その年齢に必要な筋力の向上を目指した保育が行なわれている。近隣にある10か所以上の公園を活用して、乳児クラスの時から積極的に散歩に出ており、季節を感じられるような行き先を選定するなどの配慮をして楽しめるように工夫している。この様な取り組みを積み重ねる事で、年長児は片道2kmの大型公園まで歩いて散歩が出来る体力が養われている。
2	タイトル	園を子どもにとって最もふさわしい生活の場としたいとの事業者理念に沿って、環境の改善が行なわれている
	内容	「保育を必要とするすべての子どもにとって、最もふさわしい生活の場として、最善の利益を守り、保護者と手を取り合い福祉を増進します」という事業者の保育理念に基づき、毎年設備の改善に取り組んでいる。今年度は屋上を改装し、コロナ禍でも屋外遊びが出来る様にして、運動会にも活用をした。また、園庭にも木製の4種類の遊具を新設して、子どもが新しい遊具を秘密基地にしたり、異年齢の子どもと一緒に遊んだり楽しめる改善がされた。更に、転倒時のケガ防止を考え床材をクッション性のあるものに交換するなど、環境改善の意欲が高い。
3	タイトル	職員間のコミュニケーションが良く、連携して子どもの保育を実施している
	内容	毎月「職員会議」「カリキュラム会議」「ブロック会議」などがあり、職員間で活発な意見交換がされている。例えば、行事を行う際にはその行事毎の「ねらい」は何かが職員間で話し合わせ、連携して行事が実施される。その結果、行事後の保護者満足度は高く、保護者から子どもの成長が感じられたと職員への感謝の言葉がある。保育室はオープンスペースになっており、職員間のコミュニケーションが取りやすい環境となっており、視察中も職員間で自然に声を掛け合い、一人では難しい作業に対して別の職員がスムーズにサポートする連携が見られた。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	法人や園のキャリアパスを作成して、人材育成の体系を作り、より一層職員の成長を支援する仕組みを望みたい
	内容	当園では都が主催する「キャリアアップ研修」に参加し、他施設の職員と交流するなど、職員の成長に役立つ研修への参加を奨励している。今後は研修への参加に加え、法人や園として各職員の成長の道筋を示す「キャリアパス」を作成し、計画的な人材育成を組織として取り組む事を勧めたい。現在は年度初めに個人目標の確認が行なわれているので、その目標の達成状況を個人と事業者が共有し、次年度に新たな目標に挑戦する「成長のサイクル」を作り上げていく事を期待したい。
2	タイトル	中期計画を策定して、地域になくてはならない保育園として地域ニーズを先取りする取り組みを期待したい
	内容	地域の子どもに関する関係機関との情報交換や、保育事業全体の環境変化を把握する取り組みがあり、環境変化を中期的な視点で捉えた分倍保育園として対応すべき課題が認識されているので、これを活かした中期計画の策定を勧めたい。延長保育や子育て広場など地域ニーズに応えた事業を展開しており、この事業の評価・改善をPDCAサイクルで進化させるとともに、中期計画に基づいて新たなニーズの発掘と実行を行い、地域に欠く事の出来ない保育園としての存在を確かなものにする取り組みを期待したい。
3	タイトル	業務の標準化を進め、保育者の子どもへの関わり方を共通化して、保護者の理解をより高める活動を期待したい
	内容	利用者のアンケートにおける満足度は9割を超えているが、一部の回答に保育者の子どもへの関わり方に改善を求める声がある。今でもヒヤリハットの事例検討や行事後の反省・改善事項など多くの実際の事例をもとに話し合っているため、これを生かして、子どもへの関わり方を中心とした業務の「標準」や「基本」を園として共有する事を行ない、保護者からの理解と信頼をより高める事を期待したい。